



こうほう

— 総代会、各本部全体会議特集 —



DENNET

デンネット“DENNET”は電気(Denki)工
事業で固く結ばれた協同集団(Network)
を意味して造られた組合の略称です。

第 155 号

令和4年(2022年)7月20日

石川県電気工事工業組合

「お薬師さん」愛染寺 猪目門(いのめもん) 《加賀市片山津温泉》

地元では「お薬師さん」と親しみを込めて呼ばれる愛染寺は、霊峰白山を臨み、柴山湯を眼下に収める高台に建っており、片山津温泉の守護寺として、温泉街の降盛を見守り続けてきました。

愛染寺の山門は猪目（いのめ）を型取り、石川の伝統工芸である水引やクローバー（四つ葉もあります♡）のデザインを散りばめられ、寺を守護する金剛力士を表す、梵字で「阿（あ）」「吽（うん）」の二文字も掲げられています。

この猪目（いのめ）とは古来より日本にある図柄で、魔除けや福を招くとされており、ハートに似た形をしています。

また、片山津温泉の夏の風物詩として、毎年8月に柴山湯で行われる「燈籠流し」は、とても幻想的で多くの方が訪れて賑わいを見せております。

目 次

新年度のご挨拶	1
第81期通常総代会	9
60回優良従業員表彰式	16
組合功労者表彰	19
3本部、全体会議開催	20
電気使用安全月間行事	24
組合女性部設立へ～女性部入部のお願い～	26
各本部だより	27
青年部だより	36
新規採用職員の紹介	37
組合事務局日誌	46

電力需給逼迫注意報が初めて発令

理 事 長 米 沢 寛



平年より早く猛暑が日本列島を襲ってきました。予想しなかった速さで梅雨が明け猛暑がやってきました。今夏の暑さは特に厳しく酷暑とっていいでしょう。北陸は平年より25日も早く梅雨前線の北上に伴い気象庁は過去最短の速さで梅雨明け宣言、体が暑さに馴れることを暑熱純化というがそれに馴れなければ熱中症のリスクが大幅に高まります。

そうした厳しい暑さの中で経済産業省は電力需給の逼迫が見込まれることから「電力需給逼迫注意報」を発令しました。暑さが続くことでエアコンの利用などで電力需要が高水準になると予想しての対策であり初めての注意報でした。

本来はこの冬を見越して大規模停電の恐れが高まった場合、大企業などを対象に「電気使用制限」の発令を検討していたようです。違反すれば罰金が科せられる強制的な措置で一般家庭などの節電が不十分な場合に備えての準備でした。

ところが日本列島は40.2度を観測するなど各地で晴天が続く国内観測史上初めて6月に40度を超えるなど猛暑が続く、気象庁は熱中症対策を呼び掛け、北陸でも記録的な猛暑や真夏日統計を取り始めはじめてと報道され、電力需要に歯止めをかけなければならない猛暑の到来は予測しなかっただけに大きな課題になっています。

電力の供給が不足し、停電など国民の生活

に悪影響を及ぼす恐れがある場合、政府が企業など大口利用者の電力使用を制限できる措置は、電気事業法で定められており違反すれば罰金の対象となります。我々電気工事業界にとってもまったく関係ないこととは言い切れません。

夏の暑さ続きでエアコンの利用などで電力需要が高水準になると「電力需給逼迫注意報」の発令は我々にとって気になるところです。エンドユーザーに最も近い我々として万が一に備えて、猛暑が続くと企業や家庭に引き続き節電の協力を求めなければならなりません。使っていない部屋の照明を消したり、調理器具を他の時間帯に使ったりするなど備えを準備すべきと思います。

一方、電力不足問題は構造的な問題ともいえます。解決する道筋は容易に見通せませんが、電力需給が逼迫する根底には、採算の取れなくなった火力発電所の休廃止や原子力発電所の早急な再稼働を政治判断で実現しなければなりません。急拡大した太陽光の発電量は天候に大きく左右され、再生エネルギーの電気を貯めておく蓄電池は、技術開発や整備が遅れ需給逼迫の緩和には十分つながっていないなど、課題が多いだけに経済産業省と各電力会社は需給逼迫への対応を急がなければならないでしょう。

向暑の折ご自愛ください。

新年度を迎えて

副理事長兼
理事長代行兼
加南本部長
(配電担当)

今 出 真 稔



風鈴の音が涼しげに聞こえ、空の青さが夏の到来を告げる頃となりましたが、組合員の皆さま方におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。常日頃から電気工事組合の諸事業・活動・運営に対しまして、多大なるご理解とご協力を賜り、この場を借りて厚く御礼を申し上げます。

昨年度に引き続き副理事長（加南本部長・配電委員会担当）兼理事長代行の大任を仰せつかりました。微力ながら精一杯この任務を遂行してまいり所存でありますので、諸先輩方々はじめ組合員の皆さま方から尚一層のご指導とご鞭撻を賜りたくよろしくお願い申し上げます。

昨今の国際社会はコロナ禍・ウクライナ情勢による半導体不足・流通遅滞の影響から資材の不足・納入遅延・価格上昇が慢性化しております。我々の電気工事業においては「働き方改革」も企業経営の逆風となり、生産性の低下を避けられない状況下であります。このように我々を取り巻く環境は日々変化しておりますが、変化に柔軟に対応することは厳しい条件下でも生き残るための術でもあります。柔軟な発想と行動力、さらに強い意志を持って時代の変化を新たなチャンスと捉えて精力的に活動を継続して行きたいと思っております。

さて、配電工事に関して北陸3県の配電工事施工者全員から「配電工事の事業環境に関する意見」をアンケート形式で意見聴取した結果、現状の不満や将来の不安など多くの

生々しい意見が出され問題点が浮き彫りとなりました。辛辣な意見も少なからずありましたが、何より大切なのは発注者と受注者間の信頼関係であると思っております。お互いをリスペクトし意思疎通を良好にすることで信頼関係を強固にし、改善される項目もあるように感じました。北陸連合会配電委員会として委託先である北陸送配電(株)の主管部にそのアンケート内容の提示を終えて、今後の改善に向けて協議を行っていくこととしております。

一方では、熟練技術者の多くが高齢化し併せて少子化による将来の人材不足により企業承継問題が大きくクローズアップされております。将来的に企業継続の困難度合いが増すことも予想され、組合員の減少・戦力の減退も懸念されるところであります。雇用環境を整備し若年層の電気工事業界への就労支援を促進し業界の人材不足解消に併せて組合員の減少対策を目的に新規加入者の促進に取り組む必要があります。

このような状況下ではありますが、皆さまと力を合わせてより良い組合活動を行っていきたいと思っております。

皆さま方におかれましては、健康と安全には十分ご留意され、ご壮健にて盛夏を乗り切られますよう心よりお祈り申し上げます。

最後に、皆さま方のますますのご健勝とご繁栄をご祈念申し上げて、新年度のご挨拶とさせていただきます。

再生可能エネルギーへの対応

副理事長兼
能登本部長
(安全担当)

稲垣 健英



再生可能エネルギーと言っても幾つかの方式があります。風力発電・太陽光発電・地熱発電等。今、身近なのは風力と太陽光になります。地熱発電は限定された地域、近くに火山や温泉地が有るという条件があり日本でもまだ商用運用している施設は限定的です。

風力発電は現在能登に計画されているものは154基、既存の風力発電が74基ですから倍以上の計画があります。能登と言いましたが風力発電は県内では全てが能登だけです。金沢や加南には1基も無く現在計画されている全てが能登になります。風力発電5基を建てるとすると北陸電力の送電線路に繋ぐには変電所を建て風力まで埋設か架空での配線が必要になります。架空線路の配線は内線工事業者では無理がありますが埋設配線ならある程度の人数を抱えている内線工事業者なら仕事をする事は充分可能です。現在計画されている風力発電所が全部認可されるとは思いませんが同時に工事が始まるとも思われません。埋設配線工事が主の場合その地域に精通している事は大きく自分の地盤に風力の計画があれば十分仕事になる可能性があります。

太陽光発電所は一般家庭の屋根に載せるも

のから野球場2面にもなるメガソーラー施設まで多様ですが能登でも工場の屋根に設置するものや遊休地での野建ての太陽光発電が数多く計画があります。他にも公共施設の屋上等の設置や農地や耕作放棄した所での計画もあります。風力発電所と違うのは太陽光発電所の場合電気工事士の資格は当然として太陽光パネルメーカーの施工ID、蓄電メーカーの施工IDが必要になります。面倒なのはこの施工IDはメーカーごとのものがようになりますから大変と言えば大変ですがまずは一つから能登本部では今年度この太陽光パネル施工IDと蓄電池施工IDの講習を計画しようと思います。パネルメーカーも蓄電池メーカーも幾つかありますが検討して早急に講習が開催できるようにと思います。

この3年間コロナ過で内線工事に関する新技術の講習を開催出来ませんでした。

太陽光発電に関する講習の他にもフルハーネスが外線工事、内線工事共に着用義務化になっています。外線工事は既に講習完了していますが内線工事業者対象での講習会も開催したいと思います。

副理事長兼
金沢本部長
(総務担当)

柚 木 賢



組合員の皆様におかれましては、ご健勝のこととお喜び申し上げます。

初夏になりコロナ感染者の数も次第に減少し徐々に日常を取り戻しつつあります。

電気工事組合金沢本部におきましては、5月20日(金)に全体会議が行われました。昨年一昨年と郵送書面による決議で3年ぶりの開催となり会議後懇親会も行いました。参加者も99名と通年の2割減程度で役員一同ホッと胸をなでおろしています。

令和4年度も、事業計画重点目標としまして「施工品質の向上、企業統治（ガバナンス）施工体制強化。」を盛り込んでおります。各社より一層の施工品質の向上、労働災害0、手直し工事0を掲げ実施していきたいと思えます。

しかしながら今年度当初、金沢本部内1業者が、基本ルールを無視した業務に対し施工認定工事（計器取付業務）6か月停止処分（現在、この処分が引込業者の大変負担になるので別の処分に変更）を課しました。その内容は、集合住宅の計器取付け誤り2件、竣工時の計器未取付け5件（内県外2件）、と大変粗悪なものでした。

当本部といたしましても、石川県電気工事工業組合の名を汚すような行いをする業者に

対し、今後除名処分も視野に入れた厳しい処分を検討いたします。

さて今年も金沢本部青年部の方に5月28日、百万石まつり前の街路灯清掃を行って頂きました。街路灯清掃は青年部創設以来行っており百万石通りの街路灯清掃は、27年前から行っていて我々金沢本部の伝統でもあります。その他、高校生との意見交換会や工業高校生の物作りコンテストなど、コロナ禍の中でも中村青年部長のもと活発に活動していただき我々役員一同大変喜ばしく誇りに思います。今年は、県青年部が創立40周年を迎えられるそうで、これからも青年部の活動を支援していきたいと思えます。

さて、工事組合が北陸電力様の計器出庫業務を段階的に引き継いで業務しております。現在、北陸電力送配電窓口のほか工事組合金沢と鳴和電気商会の3箇所で行っておりますが、工事組合のほうが大変込み合っておりご迷惑をお掛けしております。なるべく分散して送配電窓口、鳴和電気商会の方にも出庫申請していただくよう宜しくお願いします。

最後になりますが組合員の皆様方、ご家族の皆様方のご多幸を祈念いたすとともに、これからも金沢本部へご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。



常務理事(企画担当)

竹内 和良

夏本番を迎え、組合員の皆様いかにお過ごしでしょうか。

第81期通常総代会もコロナウイルスの影響も多が残る中、無事開催され、各種議案を可決し終了する事が出来ました。コロナウイルス禍のなか生産現場ではサプライチェーンも破綻して材料、部品、各種製品が手に入りにくくなり、その結果、世界中の人々の生活に大きな影響を与え生活環境を激変させて、色々な場面で我慢を強いられています。

その様な暮らしにくい状況の中でさらに、ロシアがウクライナに戦争を仕掛け、攻め入り、燃料や食料等、色々な物の価格も大きく上昇し、大変に暮らしにくい世の中になっています。早く戦争が終結し日常の生活が早くもどる事を願っています。その様な状況ですが、今年度も組合の活動目標の中で企画委員会が昨年度も進めておりました、我々電気工事の業界で今まで以上に女性に活躍してもらい、業界が発展し、光り輝き、色々な方々が活躍しやすい業界になる為、能登、金沢、加南の3本部所属の全組合員と女性経営者層、女性従業員に本格的に活動して頂き、女性の視点から見て頂き多くの女性の新卒者や我々業界に興味がある方々が入りやすい職場環境、作業環境になる為の色々な意見や提案を多く出して頂き、皆が共感出来る目標や活動方針を本格的に決定して活動を始めて行きたいと思います。



常務理事(電設担当)

米澤 直明

盛夏の候、皆様方におかれましては益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

先般6月3日に開催されました第81期通常総代会におきましては、令和3年度事業報告並びに財務諸表承認の件・令和4年度事業計画案並びに予算案承認の件その他案件につきまして速やかに審議されました。又、引き続きまして電設委員担当をおおせつかりました。今年度も何卒宜しくお願い申し上げます。

コロナワクチンの3回目接種率も6割を超え、今回の総代会は昨年よりも幾分コロナ禍の影響が緩和された中での開催でありましたが、昨年度と同様に感染拡大防止対策に配慮していただきましたことに深く感謝申し上げます。

一昨年からの新型コロナの影響により海外生産拠点を中心とした多くの資材が不足し、為替レートの円安基調により原料を輸入に依存している我が国にとって資材の不足・物価の高騰が経営を圧迫しています。又、今2月からのロシアのウクライナ侵攻によるエネルギー源・資源の需給も懸念されます。さらに、異常な高温による電力予備率の逼迫でエネルギー消費に翳りが見えます。この状況の中、私たち電気に携わる者として、お客様に適正・安全に電気を使用していただくように、ハード・ソフト両面で貢献していけますように業務推進をして参りたい所存です。

当電設委員会におきましては、手直し工事や労働災害の再発防止、電気工事業界を取り巻く環境や技術に対する知識の研鑽に積極的に取り組んでまいりますので今後とも何卒宜しくお願い申し上げます。

今年は例年になく梅雨明けも早く酷暑日が続いておりますが、皆様方におかれましては、熱中症のリスクを回避され、どうか安全に業務に勤まれます様に、御祈念申し上げます。



常務理事(広報担当)

上 村 和 弥

今年は梅雨明け宣言が6月28日と統計史上初の6月中の梅雨明けとなりましたが、組合員の皆様におかれては熱中症対策とコロナ対策の両方に取り組み、辟易する日々が続き対応に苦慮されるのではないかと存じます。

引き続き広報委員会を担当させていただきます上村です。

昨年来のオミクロンの感染拡大により組合員の皆様の職場においても、感染による社員の休業を、多くの方が経験されたのではないのでしょうか？

当委員会としてもコロナ給付金等の情報提供等、「役に立つこうほう」を目指しておりますが、まだまだ努力が必要かとも思います。

コロナ、ウクライナ、原油高による物価上昇と円安により、我々の業界の事業環境は事業コストの上昇分をカバーできる収益構造に出来るかが事業継続のための試金石であると思います。

昨年の「SDGs」「DX推進」「テレワーク」「働き方改革」の名の下に中小企業にとってはハードルの高い部分も、そのハードルを下げてセーフティ・ゾーンを作っていく等、そういったことが組合に求められているものではないのでしょうか？

今年もまた電力の需給逼迫により都市圏では初の「電力需給逼迫注意報」が発令され、政府主導の節エネ生活を余儀なくされようとしています。

業界を取り巻く環境は相変わらず苦しい部分が多いわけですがそれでも2050カーボンニュートラルの政府方針のもとで我々の業界が活躍できる場面を創出することが我々電気工事業に携わるものの使命でもあるかと思います。

そのために社会のなかで組合員の皆様に少しでも役に立つ、ご支援できる紙面作りを「こうほう」を通じて目指してまいります。

ぜひとも組合員の皆様にはご意見、ご要望を寄せていただきますようお願いいたします。

最後に組合員の皆様の健やかな事業運営を祈念いたしますとともに、組合事業運営にもご協力賜りますようお願いいたします。



常務理事(ESCO 担当)

宮 下 誠 次

炎暑の候、皆様におかれましては益々の御健勝のこととお慶び申し上げます。

さてコロナウイルス感染症もまだまだ予断は出来ませんがウィズ・コロナとなり、感染予防対策を講じ、社会活動の活性化が始まろうとするさなかのエネルギー問題が大きく私たちの生活にのしかかっています。

ロシアのウクライナ侵攻、中国のロックダウンと急速な経済活動の再開による国際流通の混乱、そして米国政策金利の上昇に伴う加速する円安など外的要因によって化石エネルギーが高騰しており、日本は現在「エネルギー緊急事態」に突入していると思います。

しかし日本は過去の経験から外的要因の影響を最小限にするため、エネルギーの安定供給を目的に、エネルギー・ミックスバランスを図ってきましたが、残念ながら中核である原子力発電所は殆どが停止しています。原子力発電所の早期の再稼働が停滞する日本経済の復活に必要です。しかし同時に省エネをさらに検討することを忘れてはなりません。

現在、ESCO事業は維持管理を主とした業務になっており、LED防犯灯の不点の殆どが自動点滅器など送配電設備の故障が実に全体の85%を占めています。この原因を確定するために多くの労力をESCO施工者のみなさんは費やしています。

LED防犯灯の修繕を減らすことは省エネに大きく貢献するものと考え、新たな施策を検討し、ESCO事業の更なる発展に取り組みます。



常務理事(厚生担当)

桜井 勉

厚生委員長を拝命し、はや1年が過ぎました。
昨年の今頃は「コロナ、コロナ」で世の中も右往左往していましたが、ここに来て石川県でも感染レベルの引き下げが検討されるなど、ようやく長いトンネルの出口が見えて来ました。熱中症の対策も行いながらとなると、なかなか苦勞も多いですが、今後も油断することなく感染予防に努めていきたいと思います。

厚生委員の仕事に携わり、組合には沢山の保険や共済制度があることを初めて知りました。委員長としてお恥ずかしい限りです。

何もないに越したことはありませんが、「もしも」が起きてしまうのもまた現実です。非組合員の方々の保険制度については存じ上げませんが、手厚い保険制度を受けられるのであれば、組合加入の大きなメリットと言えるでしょう。

万一の時にも皆様を守り、お支え出来るよう微力ながら頑張ってまいりたいと思いますので、どうぞよろしくお願い致します。



常務理事(電力部長)

田中 学

いよいよ夏の到来を迎え、組合員の皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

新年度がスタートし3カ月が過ぎました。この間、各種催し物も再開される等ようやく長いトンネルを抜けてきた感があります。

さて、昨年度の配電工事を振り返ってみますと、竣工工量においては申込工事の減少等により年度初めは低調に推移しましたが、下期からの追い上げにより何とか予定工量に近づけることができました。安全面においては軽微な災害が発生したものの重大災害は発生しませんでした。また、施工品質面においては一昨年より指摘件数は減少しました。引き続き安全最優先で配電工事の施工をお願いいたします。

昨今、電力を取り巻く環境は燃料費の高騰に伴い厳しい状況が続いています。コストダウン、効率化を目的とした業務の外注化が一層進展すると考えられます。当組合としてはこれをチャンスと捉え、電力からの業務の受託拡大を推進したいと思っています。そのためにはまず人材の確保・育成が必要です。人生100年時代を迎え60代でも元気でスキルのある方がおられます。そのような方が今後活躍できる場として、また新たな収入源として受託できればと考えています。このような考えのもと電力と協議を進めたいと思っていますので組合員みなさまのお力添えをお願いいたします。



県青年部長

安 部 良

組合員の皆様におかれましては、益々ご健勝、ご活躍のこととお慶び申し上げます。

日頃より青年部活動に多大なるご理解とご支援を賜り、感謝申し上げます。

さて、青年部は今年創立40周年を迎えます。その大きな節目に電気工事業界や組合についての未来を考え、3本部一体となって活動すべく青年部全体での意見交換を行いました。

そこで次の50周年に向けての活動指針と新たなスローガンを掲げました。

「ONE TEAM 挑戦し続ける青年部

～想いを JOINT 未来へ CONNECT～」

このスローガンをもとに次の50周年に向けて様々な活動に挑戦していきます。

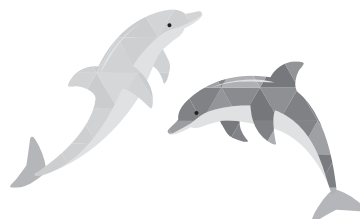
活動指針の中には青年部単独での事業の他に、組合全体で問題意識を共有し解決していくものを「親会への提言」として提案させていただきます。ぜひご理解ご協力を賜りたくお願い申し上げます。

今年はコロナ禍で中止となっていたエレキスクールを3年ぶりに開催する予定です。

今年は3本部同一日で開催し ONE TEAM として活動します。場所は違っても心は一つです。

まだまだコロナウイルスに対する配慮が欠かされていない日々が続いておりますが、県青年部はどんな状況になっても常に前を向いて「ONE TEAM」として挑戦していきます。

今後とも変わらぬご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。



第81期 通 常 総 代 会

去る6月3日(金)ホテル日航金沢において、第81期通常総代会が開催されました。

当日は、総代62名(内、書面4名)出席のもと、議案が審議され、原案通り承認された。

- 令和3年度事業報告並びに財務諸表承認の件
- 組合定款一部改正の件
- 令和4年度事業計画案並びに予算案承認の件
- 役員報酬決定の件
- 組合加入金決定の件
- 組合借入金残高最高限度額決定の件
- 1組合員に対する貸付最高限度額決定の件
- 理事補充の件

総代会議長に能登本部の桜井 勉氏が選出され、議案審議が行われた。

始めに米沢理事長からご挨拶の後、令和3年度事業の概況報告が説明された。

概 況 報 告

組合員の皆様には、日頃から当組合の事業推進にあたり、格別のご支援、ご協力をいただき、心から厚く御礼申し上げます。

昨年も新型コロナウイルス感染症の影響により、日常生活に混乱した状況が続いていましたが、夏に1年延期された東京オリンピック・パラリンピックが開催され、国内での感染拡大に落ち着きが見られたものの、新たな変異株の出現により引き続き予断できない状況となっています。

自然災害については、静岡県熱海市での豪雨による土砂災害や福島県沖地震をはじめ、全国各地で豪雨や地震等により、甚大な被害が発生しました。石川県内でも奥能登地方で地震が相次いで発生しています。専門家は、地殻変動の影響を指摘しており、「当面は地震が続く可能性はある」と警戒を呼び掛けています。

さて、昨年11月、滋賀県に於いて第34回電気工事業全国大会(関西・滋賀びわ湖大会)が開催されました。本大会は、新型コロナの感染拡大防止の観点から出席者数を会場定員の半分である500名以内に限定しての開催とし、会場に来られなかった組合員向けにYouTubeLiveを活用して全国配信が行われました。



当組合関連では、電力計器取次業務が9月から集合住宅及び250A計器等が委託拡充されたことにより、取次件数が増加しました。組合員の利便性が更に向上したものと思われます。

免状作成等業務では、第一種電気工事士免状の取得に必要な実務経験年数が「5年以上」から「3年以上」に短縮されたことから第一種の発行件数が大幅に増加しました。また、電気工事士免状のカード化への対応準備を完了し、今年4月からカードでの交付を開始しました。

企画委員会では、女性部設立に向け取り組んでおり、今年度中の設立を目指しています。また、11月から新しい組合ホームページを公開しています。迅速に情報提供していきますので、是非ともご活用下さい。

青年部が中心になって実施してきた県内の工業高校4校との業界理解促進交流事業もコロナ禍により、石川県立工業高校と金沢市立工業高校2校のみとなりました。コロナ禍が終息し、日常を取り戻した際には、この事業を継続することで若い世代の職業選択肢となるように交流を深め、業界の魅力を発信していきます。

コロナ禍が我々の業界に与える影響は、他の業界よりも軽微といわれていますが、決して楽観できるものではありません。しかしながら、市場環境については、2050年を目途とするカーボンニュートラルの実現などが、我々の業界にとって大きなビジネスチャンスとなることが期待されます。組合員が一丸となって共に考え行動することで地域に貢献し信頼される組合を目指したいと考えます。尚一層のご支援ご指導をお願い申し上げます。

令和３年度 事業概要

○組合員 新加入者３名、脱退者７名、
期末において423名。

○出資総額 177,660千円、加入積立金額180,035
千円、合計357,695千円。

○電力受注工事 令和３年度配電工事発注工量
計画の96.3%、前年度対比で94.0%の竣工実績
となりました。工費は2,539.3百万円、副資材
費663.5百万円、工事費合計では3,202.8百万円
の竣工額。

○一般用電気工作物調査業務 竣工調査におい
て受託件数6,368件（前年度対比98.8%）、受託
手数料19,952千円、並びに定期調査において受
託件数50,104件（前年度対比95.9%）、受託手
数料51,918千円、調査業務として71,870千円の
実績となりました。

本部名	実施件数		受託手数料（千円）	
	竣工調査	定期調査	竣工調査	定期調査
金 沢	3,686	30,194	12,440	31,959
加 南	2,682	19,910	7,512	19,959
合 計	6,368	50,104	19,952	51,918

○配電工事施工品質評価実績 （単位：件）

評価分類	評価項目	R 2	R 3
取引停止 措置	取 引 停 止	1	
	厳 重 注 意	1	
事故発生	災 害（不休）	2	2
	停 電・漏 油		1
安全パト ロール	重大な指摘	2	1
	軽易な指摘	5	5
竣工検査	不 良 工 事	4	2
	注 意 工 事	2	2
苦 情	苦 情 発 生		
合 計		17	13

○自主安全管理活動 安全管理は、「基本ルー
ルの遵守徹底」を最重点実施項目として位置付
け、諸施策に取り組んできましたが、配電委託
工事において２件の労働災害が発生しました。

うち１件は変電所門扉を閉める際に指を挟み
受傷したもので、平成28年にも同様の災害が発
生していましたが、再発防止策が守られていま
せんでした。他社で発生した災害を他人ごとで
はなく、自分ごととして捉え、危険感受性を高
める必要があります。

今年度も引き続き、「基本ルールの遵守徹底」
を最重点実施項目として位置付け諸施策に取り
組みますが、事業主、管理監督者、従業員一人
ひとりが基本ルール遵守を固く決意し、再発防
止策を愚直に実践するようお願いします。

自主安全パトロールでは、令和３年度の重大
指摘事項は昨年から３件減少し12件の発生とな
りました。また、軽易な指摘指導も15件減少し
51件となりました。外線の重大指摘10件の内訳
は災害につながる指摘Aが３件、災害につなが
らない危険な行為である指摘Bは７件で班長の
声掛け及び現場管理が適正であれば防ぐことが
できたものです。また引込線での重大指摘は２
件でいずれも指摘Bで充電部の防護不足となっ
ています。

期間中の全指摘63件の内、作業区画標識不足
と交通整理員の公衆安全に係る指摘が12件と全
体の２割を占めたことが昨年の特徴で現場安全
管理の改善が求められます。

また、班長と班員間における指示確認不足及
び復唱復命不足が６件（１割）で互いのコミュ
ニケーションを図ることが大切です。班長と班
員、班員同士による「声掛け」や「一動作一確
認」を引き続き心掛け、施工品質の向上と安全
管理の徹底で指摘の抑制に努めることをお願い
します。

パトロール出勤回数は相も変わらず安全指導
員が低調であり、外線で本部間でのばらつきが
目立ち、引込線にいたっては「６」回となって
います。

パトロールは指摘が目的ではなく安全に高品質な成果物を納品するものと考えを改め、現場での指導に積極的にかかわる必要があります。

外線工事施工品質評価件数は、前年度の17件から13件と減少しました。然しながら、発注者安全パトロールでの軽易な指摘や竣工検査での不良工事が依然として多く、ルールの不遵守と工事後の点検・確認不足が主な原因となっています。

基本ルール遵守と工事後の確認を徹底するとともに、一動作一確認、復唱復命により一人ひとりが安全・施工品質向上に向けて意識を高める必要があります。

○保守管理業務 保守管理業務についての、業務受託契約件数は期首576件、期末においては575件となり、1件の減少となりました。

契約件数の内訳は官庁関係435件、民間140件であります。本業務はエンドユーザーとの信頼関係の中、メンテナンス分野を通して永続的な技術営業拡大につながるとの観点から、特に官公庁関係を主体に陳情を重ねてまいりましたが、近年は建物改修等により、一般用電気工作物から自家用電気工作物に変更されることから、残念ながら一段と厳しい状況で推移しました。

○教育・資格取得講習 令和3年度の第一種電気工事士定期講習は、引き続き新型コロナウイルス感染対策として会場定員の半分以下の受講者で、2回開催し、161名（金沢91名・能登70名）の方が受講されました。

定期講習は、電気保安の確保ならびに施工品質、さらには電気工事士の資質の向上を図るために必要不可欠な講習であります。今年度から講習会受付にタブレットを使用したスマート受付を導入し受付時間の短縮を図った他、インターネットを利用したオンライン講習も開始されました。受講者への利便性向上に努めています。

当組合では、「一般財団法人電気工事技術講習センター」への「登録」を全組合員にお願いしています。まだ登録されていない工事士の皆様には、是非とも「一般財団法人電気工事技術講習センター」への「登録」をお願い致します。

○電気工事士免状発行等業務 電気工事士免状発行等業務は、第一種電気工事士免状の取得に必要な実務経験年数が「5年以上」から「3年以上」に短縮されたことから第一種電気工事士免状の発行件数が大幅に増加しました。また、従来の紙ベースでの電気工事士免状は廃止され、令和4年4月からプラスチックカードでの発行がスタートしています。

本事業は全国各工組で取り組みが進められています。令和4年度も当組合での受託が決定しており、引き続きこの事業を継続することにより組合の存在意義を大きくアピールしていきます。

○金沢市LED防犯灯ESCO事業 金沢市LED防犯灯ESCO事業は、10年間にわたる維持管理業務の4年が終了しました。令和3年度は、金沢市からの新規取り付け依頼灯数177灯、独立柱新規取り付け依頼本数18本に対応しました。また、修理依頼による出勤回数は481回に上り、主な修理内容では、点滅器交換291件、灯具交換25件、ヒューズ切や向き替えなど143件に迅速に対応しました。その他、所有者不明の幽霊街灯13灯を町会と協議し9灯を本事業に追加したほか、稲作対策等で町会と協議対応した追加工事で62灯を処理しました。

現状では、ほぼ毎日、町会から問合せや修理依頼があります。また、本事業以外の街灯の問合せも多数寄せられています。今後も、安全で安心な街づくり推進に心掛け取り組んでいきます。

○電気使用安全月間 令和3年度も8月に組合役員及び青年部を中心に電気使用安全月間運動を実施しました。昨年に引き続きコロナ禍の状況からエレキスクールは全て中止する等、各地域で規模を縮小しての実施となりました。主な活動内容は、能登本部管内では、エレキスクールの代替行事として小学校への消毒液や手洗いの贈呈を行った他、電気設備の点検・仮設建築工事現場29ヶ所、重要文化財1ヶ所（加南本部管内）、街路灯の清掃点検奉仕作業195ヶ所（金沢市百万石通り、白山市内）、新聞広告の掲載等、電気使用安全月間PRを積極的に展開して参りました。

○広報活動 広報活動と致しましては、組合「こうほう」誌を年3回発行し、組合員各位、及び防災協定を締結している全市・町に配布致しました。

また、11月から新しい組合ホームページを公開しています。迅速に情報提供していきますので、是非ともご活用下さい。テレビCMについては、「電気のフラメンコ篇」、「石川電気安全サービス“電気設備は大切な財産です”」という二つのタイトルでテレビ金沢のフリースポットで放映いたしております。是非ご視聴されまようようお願い致します。

○材料供給事業 材料供給事業については、本年度576,869千円（副資材568,767千円、内線4,919千円、一般3,183千円）の販売促進を図りました。資材供給事業にご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

今後も組合員の経営安定と省力化に資するとともに事業を推進して参ります。

○事業資金の貸付 事業資金の貸付けについては、諸般の金利水準等の情勢を考慮し貸付金利率を前渡金3.5%で運用し、年度中に総額25,600千円の貸付を行いました。また、一般貸付及び年末特別貸付については、ご利用はありませんでした。

○福利厚生 福利厚生については、年度中に組合員1名が他界されました。心から哀悼の意を表します。例年実施しております健康診断は1,728名の方が受診されました。令和4年度も各本部で実施する予定でありますので、全員の受診をお勧め致します。また、組合員を対象としたインフルエンザ予防接種は8名の方から申請がありました。新型コロナ対策の優先とインフルエンザ激減の影響があり低調となったものと考えます。

第三者賠償制度については、加入者333社、加入保険料26,637千円に対し、事故発生が10件（外線0、引込0、内線10）、補償費4,478千円

の給付を受けました。

また、組立保険制度は、加入者41社とまだまだ低調です。組合員の不測の事態に備え、工事の対象物に関し突発的な事故で損害が発生した場合、その復旧に要する費用を補償する保険です。スケールメリットを活かした加入費で充実した補償内容となっていますので、是非、ご一考下さい。

○全日電工連グループ共済制度 全日電工連グループ共済制度については、現在加入組合員227社、加入員1,459名、392,800万円の契約をしております。年度中には、9件（死亡2件、障害1件、入院6件）6,669千円の給付を受けました。不慮の備えのために多数の加入をお勧め致します。

○北陸電力持株会 北陸電力持株会は昭和51年4月に発足以来、組合員各位のご理解のもとで令和4年3月末会員は66名、株式数664,882株を所有しております。

北陸電力様との関係を一層密にし、協力体制を確立すること、また、少額資金を継続的に積み立てることによる会員の資産形成を目的としております。更に多くの組合員が加入されますようお願い申し上げます。

○青年部 青年部は、引き続き新型コロナウイルス感染症により活動が滞りましたが、新たな試みとして他団体とのコラボ活動（ライトアップ）を実施しました。また、高校生との交流事業である意見交換は金沢市内の石川県立工業高校と金沢市立工業高校の2校だけの開催となりました。次年度は、各本部で実施することでコロナ前と同様に県内4校での実施を目指します。

一方、令和4年度は、「県青年部の創立40周年」を迎えます。青年部では40周年を業界の魅力向上と飛躍するための契機として捉えており、これまでに囚われない活動を考えています。今後のコロナ後を見据えた活動に期待するとともに支援をしていく考えであります。

令和3年度 事業報告書

組合員事項

期首 427名 新加入者 3名 脱退者 7名 期末 423名

〔新加入者名〕

No.	事業所名	代表者名	所在地	本部	支部
876	三ツ和電気商会	島田 良徳	七尾市古府町フ42-2	能登	七尾
877	(株) G・I・G	永山 雅彦	野々市市新庄4-214-5	金沢	犀川東
878	北陸冷暖設備(株)	西川 晋平	金沢市泉本町6-87	金沢	犀川東

〔脱退者名〕

事業所名	代表者名	本部	支部
新光電気商会	俵 明 宏	金 沢	兼 六
ミツワ電気商会	三 輪 時 夫	金 沢	兼 六
(株) 木谷プロパン	木 谷 今日子	金 沢	犀 川 東
タナカ電設	田 中 克 英	金 沢	河 北
西田電気商会	西 田 毅 一	能 登	七 尾
高 田 電 気	高 田 健 三	能 登	羽 咋
西 電 気 工 事	西 祥 春	加 南	小 松



令和4年度事業計画

昨年、一昨年と新型コロナウイルス感染症の影響により、社会経済は厳しい状況にあります。各種経済対策を円滑かつ着実に実施していくことにより、今年度中にはコロナ前の水準に回帰することが期待されています。

一方、県内では、3月に任期満了に伴う石川県知事選挙が行われ、28年ぶりに県政の舵取り役が変わりました。新しい知事には、県政に新しい風を吹き込み、活力ある石川県政を大いに期待します。

さて、昨年は「基本ルールの遵守徹底による労働災害撲滅」を最重点実施項目と位置付け、諸施策に取り組んできましたが、残念ながら配電委託工事で1件、内線工事で墜落による重傷災害が2件発生しました。いずれの災害も基本ルールの不遵守が原因であり、過去に発生している同種災害が繰り返し発生している状況です。今年度も「基本ルールの遵守徹底による労働災害撲滅」を最重点実施項目として取り組みます。

労働災害撲滅、施工品質向上を図るためには、「日頃からの声かけ」や「何でも話し合える風通しの良い職場環境づくり」等、コミュニケーションの活性化が重要です。事業主の方には率先垂範して、一層の安全・施工品質向上、労働災害の無い安心して働ける職場環境の実現に向けた取り組みをお願いします。

近年、後継者不足から事業を廃業せざるを得ないケースが目立ってきています。高齢化と若い労働者不足が顕著であり人材確保や次世代の担い手を育てることが不可欠です。青年部が中心となり、将来の人材確保対策として取り組みを行っている業界理解促進交流事業「高校生との意見交換会」を引き続き実施し、電気工事業界の実態や魅力を発信していきます。

また、全日電工連が取組んでいる「女性活躍推進事業」に賛同し、“もっと女性が活躍できる業界”を目指して女性部の創設を予定しています。これは、女性の社会的地位の向上と女性後継者及び女性技術者の育成を図り、組合事業の活性化及び強化を目指すものであります。

今年は、第4回電気工事技能競技全国大会が横浜アリーナで4年ぶりに開催されます。今大会から各工組1名の選手出場枠が設けられています。前回大会では、当組合代表の選手が優秀な成績を収めています。今回も優秀な成績をめざし青年部の協力の下、支援してまいります。北陸ブロックでは、9月に予選会を開催し各県の全国大会出場者を決定します。日頃の技を競い合うと共に技術レベルの向上を図る機会であり1人でも多く参加いただき、熱い戦いが繰り広げられることを期待します。

我が国経済は、相次ぐ自然災害、世界的な半導体不足、資源価格の高騰等に加え、人手不足や後継者不足、デジタル化の遅れなどの懸案もあり、今後も厳しい事業環境が予想されますが、ポストコロナ時代を見据え、経営環境の変化を前提とした持続的な組織体制の構築、新たな成長・発展に向けた取り組みを関係機関と連携して進めていくことが重要と考えます。

今年度も引き続きご支援ご協力をお願い申し上げます。

重 点 目 標

1. 基本ルールの遵守徹底による労働災害撲滅

- (1) 高所作業車が使用できない現場での梯子・脚立の使用禁止（外線・引込線）
- (2) 内線工事における高所作業では原則「立ち馬」を使用し、やむを得ず梯子作業を実施する場合は可能な限り二人以上で梯子の上下固定を確実に実施する
- (3) 高所作業における墜落防止措置の確実な実施
- (4) 安全行動調査結果を活用した個別指導の実施（外線・引込線）
- (5) 低圧充電作業（測定含む）における低圧ゴム手袋着用の徹底、停電作業における検電による停電確認の徹底
- (6) 内線施工者を対象としたパトロールの強化実施

2. 法令遵守と風通しの良い職場環境づくり

- (1) 声掛け、職場懇談会、教育受講者と事業主との面談による成果の確認等コミュニケーションの活性化
- (2) 事業主からの訓示による従業員への行動規範の再徹底
- (3) 各種研修会、教育の機会を捉えた行動規範の再徹底と法令教育の実施

3. 施工品質の向上

- (1) 班長の目視による確認の徹底
- (2) 目視が困難な場合は班員に指示し、報告を受けること「復唱復命」の徹底
- (3) 自問自答、指差呼称による班員一人ひとりの「一動作一確認」の徹底
- (4) 工事後の確認と復唱復命に重点を置いた安全パトロールの実施
- (5) トラブル事例と再発防止策の理解促進教育の実施
- (6) お客さま工事不良通知施工者に対する再発防止教育の実施
- (7) 一般用電気工作物調査員のスキルアップ

4. 施工力の確保

- (1) 新入社員、若年者への積極的な声掛けによるモチベーション向上とOJTによる技術指導
- (2) 工具、機械への効果的な設備投資（高経年機材の適切な更新等）
- (3) 各種教育の実施（県工組大-新入社員教育、連合会大-若年者教育、中堅社員教育）
- (4) 高校生との意見交換会による業界理解促進活動の推進

5. 交通安全・自主健康管理の推進

- (1) 事業主、安全管理者による安全運転指導の実施
- (2) 安全運転管理者（代行者）による運転者の運転前後の酒気帯び確認の実施
- (3) 特殊車両における特定自主検査（年1回）の確実な実施
- (4) 車両始業前点検の励行と交通KYによる防衛運転の実施
- (5) 定期健康診断の積極的受診と管理監督者の声掛けによるメンタルヘルスケアの実践

6. 組合運営の活性化

- (1) 員外施工者への組合加入の促進
- (2) 青年部活動との連携強化
- (3) 組合「女性部」の創設
- (4) 各種諸行事への積極的参加（石川県電気安全協定会・内線工事研究会等）
- (5) はくりく地域産業企業年金基金事業への協力支援

7. 正しい原子力知識の啓発と原子力発電への理解

- (1) 「北陸地区電気エネルギーを考える会」への協力支援
- (2) 電力会社並びに関係官公庁諸団体との連携、一層の緊密化

第60回 優良従業員表彰式

103名を表彰

恒例の優良従業員表彰式が6月3日(金)、総代会に先立って金沢市のホテル日航金沢で行われた。

表彰式は今年で60回目。表彰式には馳県知事、山出県中小企業団体中央会会長ら来賓が出席、米沢理事長は「業界も日常も目まぐるしく変化する中、みなさんが最高のパフォーマンスを発揮して企業の中で光輝くことで、組合の存在価値も高まっていく。社会基盤のインフラである電気を支えている使命と誇りのあるこの業界を、より魅力あるものとするよう共に頑張っていきたい。」と受賞者をたたえた。

馳知事、山出会長、米沢理事長から受賞者に表彰状、記念品が贈られ、労をねぎらった。受賞者を代表して西 正(竹内電気工事㈱)が力強くお礼の言葉を述べた。

表彰を受けたのは次のみなさん。

(敬称略、カッコ内は勤務先)



石川県知事賞(勤続30年表彰) を受賞して



㈱高田電機商会
福 光 一 昭

この度は「石川県知事表彰(勤続30年表彰)」を賜り、厚く御礼申し上げます。身に余

る光栄に、感謝しかございません。

入社した頃は一つわからない私に、会長をはじめ社長、同僚等皆様にご指導頂きました。おかげ様でここまでやってこれたのだと思います。

勤続30年表彰の節目に、思い起こせば色々なことがありました。やりがいのある作業や大変な作業、慰安旅行や飲み会、楽しいことも、辛いことも、それでも続けてこれたのは一重に皆様のおかげでございます。特に会長や奥様には公私共にお世話になり、感謝感謝でございます。ありがとうございました。

年齢的なこともございますが、今後も体力の続く限り健康維持に努め、安全・安心な作業に真摯に取り組んでいきたいと考えております。

今後とも変わらぬご指導を下さいますよう、よろしくお願い申し上げます。本当に皆様ありがとうございました。

石川県中小企業団体中央会会長賞 (勤続30年表彰)を受賞して



桜田電気工事㈱
吉 村 誠

この度、石川県中小企業団体中央会会長表彰勤続30年を賜り、厚く御礼申し上げます。

私は、工業高校を卒業後に入社し、いろいろな電気工事業務に携わりました。

入社当時から今日に至るまで幾度となく辞めようという事があり、我ながら良く続いたなと感心します。

電気業界は今、大きな変革の時を迎えています。電力の安心・安全・安定した供給は昔も今もこれからも変わらず求められます。また、施工品質の向上・災害時の緊急対応なども求められることと思います。

これからを見据え、今後も気持ちが続く限り、人材の育成・技術技能の伝承に力を注ぎ電力インフラを支えているという強い誇りと自信を持って、会社や電気業界の更なる発展の為、専心努力する所存です。

これからもご指導下さいます様お願い申し上げます。

◆石川県知事賞

□勤続30年表彰（18名）

○金沢本部（11名）

宮 崎 崇（米沢電気工事株）
矢 田 純 一（ ）
三 野 敦 生（ ）
坂 本 万三博（ ）
寺 内 功（ ）
森 山 良 雄（ ）
橋 本 修 二（立野電気工事株）
坂 井 稔（株大地電業所）
越 田 維 人（北陸電設株）
能 瀬 実（石川県電気工事工業組合）
藤 元 浩 司（ツボ電気工事株）

○能登本部（6名）

泉 靖（桜井電気工事株）
福 光 一 昭（株高田電機商会）
霞 流 幸 喜（石川県電気工事工業組合）
吉 田 広 子（ ）
吉 野 茂 博（株旭電機商会）
前 田 正 尚（珠洲電気工事株）

○加南本部（1名）

西 正（竹内電気工事株）

◆石川県中小企業団体中央会会長賞

□勤続30年表彰（2名）

○金沢本部（2名）

川 本 隆 司（北陸電設株）
吉 村 誠（桜田電気工事株）

◆石川県電気工事工業組合理事長賞

□勤続20年表彰（42名）

○金沢本部（32名）

丹 羽 津奈生（米沢電気工事株）
村 谷 良 太（ ）
木 村 壮 志（ ）
木 下 龍（ ）
加 藤 剛（ ）
川 口 友 規（ ）
宮 崎 護（ ）
有 代 誠 一（ ）
近 間 彰（ ）
北 村 絵 美（ ）
中 西 祐 美（ ）
山 田 克 美（ ）
諸 橋 由 明（ ）
西 村 稔（ ）
青 木 忠 夫（ ）
成 田 政 孝（ ）
山 下 竜 也（上村電建株）
安 井 良 輝（安井電気工事株）
松 島 毅（宮島電興株）
町 出 由美枝（ ）
鯨 田 純 治（株オオイエ電機）
山 岸 卓 也（第一電機工業株）
前 明 宏（ ）
永 滝 誠（ ）
酒 井 英 次（ ）
大 川 義 晃（勝崎電気工業株）
長 濱 慶 一（ ）
勝 崎 伊津子（ ）
宗 村 俊 光（成瀬電気工事株）
井 村 亮 司（㈲イムラ電気工事）
村 中 猛（株西川電機工業所）
山 本 達 也（石川県電気工事工業組合）

○能登本部（5名）

西 田 達 也（株旭電機商会）
 辻 盛 也（ ）
 寺 越 達 郎（坂室電機株）
 山 本 義 和（藤井電気工事株）
 吉 野 圭 一（ながの電機株）

○加南本部（5名）

長 田 陽 子（松本電機株）
 犬 伏 健 志（竹内電気工事株）
 中 田 哲 也（ ）
 山 本 雅 彦（ ）
 森 澤 嘉 博（株北陸エレテック）

□勤続15年表彰（14名）

○金沢本部（9名）

刀 称 真太郎（米沢電気工事株）
 柚 澤 将 太（ ）
 松 岡 洋（ ）
 松 岡 一 海（株鳴和電気商会）
 西 岡 宏 人（ ）
 田 端 久 美（ ）
 坂 下 素 直（宮島電興株）
 三 宅 康 博（吉本電興株）
 松 尾 泰 志（第一電機工業株）

○能登本部（2名）

徳 光 謙 一（ななか電気株）
 富 田 章 仁（有のと電設）

○加南本部（3名）

横 山 孝 則（東本電気株）
 西 利 騎（株北陸エレテック）
 木 藤 成 俊（ ）

□勤続10年表彰（27名）

○金沢本部（16名）

中 川 雅 賀（米沢電気工事株）
 花 田 公 則（ ）
 萩 原 祐 介（ ）
 大 村 武 弘（ ）
 小 山 乃 大（ ）
 中 村 美 樹（ ）
 岩 崎 圭 吾（ ）
 田 中 宏 典（ ）
 松 浦 隆 浩（ ）
 吉 本 肇（ほそ川ライテック株）
 古 屋 彰 一（株鳴和電気商会）
 本 川 新 悟（ ）
 柳 澤 匠（株雄神電業社）
 坂 下 尚（成瀬電気工事株）
 富 川 景 太（北陸電設株）
 前 田 能 行（石川県電気工事工業組合）

○能登本部（5名）

寺 西 清次郎（昇陽電機株）
 長谷川 宏（坂室電機株）
 田 中 裕 子（ ）
 田 中 亮 介（有漆原電気商会）
 栗 津 てるみ（鳳珠電気工事株）

○加南本部（6名）

後 藤 昌 美（中谷電気工事株）
 林 裕 介（株今出電気商会）
 長 岡 博 士（ ）
 今 出 翔太郎（ ）
 山 本 龍 二（ ）
 本 野 仁 朗（石川県電気工事工業組合）

	金沢	能登	加南	計
知 事 賞30年	11	6	1	18
中央会長賞30年	2	0	0	2
理 事 長 賞20年	32	5	5	42
同 15年	9	2	3	14
同 10年	16	5	6	27
計	70	18	15	103

組合功労者表彰

令和4年6月10日（金）、ホテル日航金沢に於いて、石川県中小企業団体中央会の表彰式が開催されました。

式では、令和4年度優良組合・組合功労者・優良専従職員の表彰が行われ、当組合より下記の方が受賞されました。

【石川県知事表彰】 今 出 真 稔 （㈱今出電気商会）

【中央会会長表彰】 稲 垣 健 英 （稲垣電機㈱）

米 澤 直 明 （立野電気工事㈱）

宮 下 誠 次 （㈱鳴和電気商会）

東 本 一 郎 （東本電気㈱）



3 本部、全体会議

金 沢 本 部

全体会議開催 5月20日(金)
於 金沢東急ホテル

金沢本部全体会議は、金沢東急ホテルに於いて、米沢理事長ら役員のご出席の下、100名が出席し開催されました。新型コロナウイルス感染症の影響のため、全体会議が開催されるのは、3年振りとなりました。



◆令和4年度 重点目標

安全基準作業手順の徹底・法令遵守し、
ゼロ災害を目指す！

(1) 労働災害の防止

- ・指差呼称による一動作一確認の徹底
- ・災害リスクの低減と不安全行動防止のより一層の強化
- ・目配り・気配り・思いやりのある行動

(2) 経営基盤の安定化

- ・人づくり 人材確保と育成に合理的で有効な方策
- ・高校生との意見交換の継続
業界理解促進交流事業については、青年部が中心になり将来の人材確保対策として実施

- ・新規組合加入者、事業承継への支援

(3) 電気工事の施工品質の向上

- ・内線工事施工品質の向上のより一層の強化（誤結線、接地不良、絶縁不良工事の撲滅、計器取付予定日の厳守）
- ・工事技術の向上により第三者損害賠償事故の撲滅
- ・北陸電力(株)様、北陸電力送配電(株)様との意見交換

(4) 配電工事施工体制の強化

- ・企業統治（ガバナンス）強化による外線・引込線の工事技術の向上
- ・自主検査の徹底により不良工事の撲滅、人材育成教育の充実と技能継承の強化

(5) 営業分野拡大による需要開拓

- ・「製・販・工需要開発会議」の継続実施
- ・保守センター業務処理の迅速な対応とフォロー

(6) 省エネルギー機器の推奨、地球環境保全の意識高揚

- ・金沢市ESCO事業継続、維持管理の迅速な対応
- ・環境関連の提案型技術営業の推進
- ・ほくリンク会員の加入協力

(7) 地域社会への貢献

- ・電気使用安全月間運動に於ける一般需要家に対する効果的なPR活動

(8) 組合員意識の啓発、PR、広報活動

- ・ 組合ホームページの充実
- ・ 高校生との意見交換、業界のPR

(9) 新型コロナウイルス感染予防対策

- ・ マスクの着用、消毒液を使った手洗いの徹底
- ・ 社員の体調管理と作業員の検温
- ・ 会議等における密閉、密接、密集の回避

内線工事優良施工者として、上位3社が表彰されました。

最優秀賞	宮島電興(株)
優秀賞	(株)リョウ
優良賞	(株)島野電機商会



能登本部

能登本部では、4月8日(金)に和倉温泉「加賀屋」会議室において開催致しました。

新型コロナウイルス感染予防のため対策を強化し、当日は米沢理事長、田中電力部長、白崎安全部長、時長事務局長ご出席の下に、組合員55名の参加者により議案の審議が行われました。

尚決議の結果、賛成多数となり以下の全議案を可決と致しました。



第一号議案

イ．令和3年度事業報告について

ロ．令和3年度収支決算報告承認の件について

第二号議案

イ．令和4年度事業計画（案）について

ロ．令和4年度予算（案）承認の件について

能登本部安全衛生ポスター標語 優秀作品者表彰（記念品授与）

○令和4年度重点目標の部

昇陽電機(株)

まあいいか その油断が 命取り

○スローガンの部

(有)漆原電気商会

確実な 基本動作で ゼロ災害

○行動目標の部

(有)漆原電気商会

全員で しっかり声掛け 防ぐ事故

◆基本目標

「基本ルールの順守徹底による労働災害撲滅」

◆重点目標

1. 組合運営の充実・職場の活性化

- (1) 人材の育成と高齢化対策の実施
- (2) 組合互助会・第三者損害賠償事故などの撲滅
- (3) 定期健康診断の実施
- (4) 青年部活動の育成と支援

2. 安全意識の高揚・労働災害及び公衆災害の撲滅

- (1) 職場作業環境に的確な自主安全管理活動の実施
- (2) 事業所訪問及び現場パトロールの実施
- (3) 労働災害及び交通事故の対策強化
- (4) 積極的な声掛けによるコミュニケーション強化

3. 配電工事技術の向上と不良工事の撲滅

- (1) 配電工事新技術・工法及び新作業手順の的確な対応
- (2) 配電請負工事の施工者評価制度の管理徹底
- (3) 自主検査・後見点検の徹底によるヒューマンエラーの撲滅
- (4) 自主・交差パトロール時での的確な助言と指導事項等の徹底

4. 電気工事新技術の取得・経営意識の高揚

- (1) 各種資格取得等の支援
- (2) 第二種電気工事士・第一種電気工事士の育成
- (3) 施工証明書の活用と提案型営業への構築
- (4) 施工品質向上に向けた取り組みと接地不良工事の撲滅

5. 電気設備保守とPRの促進

- (1) 保守管理業務の拡大と点検業務の完全実施
- (2) オール電化機器の販売促進
- (3) 電気使用安全月間における電気設備無料相談所等の設置
- (4) お客様工事不良通知設備の改修強化

6. 広報活動による組合意識の啓蒙

- (1) 電気使用安全月間における電気使用によるPR
- (2) 組合活性化及び組合のPR
- (3) エネルギーを取り巻く環境への理解強化

加 南 本 部

5月17日(火)

「のとや（栗津温泉）」で開催



5月17日「のとや」大会議室において、米沢理事長・田中電力部長らのご出席の下開催し、組合員51名が出席しました。

コロナ禍により令和元年度以来3年ぶりに全体会議を開催し、決議の結果、賛成多数となり以下の全議案を可決いたしました。

第一号議案

イ．令和3年度事業報告の件

ロ．令和3年度活動費収支計算書報告の件

第二号議案

令和4年度役員・組織の一部変更（案）承認の件

第三号議案

イ．令和4年度事業計画（案）承認の件

ロ．令和4年活動費予算（案）承認の件

令和4年度重点目標

1. 自主安全管理活動による基本作業の順守徹底・安全意識高揚からの「ゼロ災」の達成
2. 配電工事における安全最優先と基本ルール順守の徹底を基本とした施工品質確保と効率化の推進
3. 内線工事における後見点検の完全実施による不良工事の撲滅（特に計器工事と接地工事）
4. 電気工事業界の将来を見据えた認知度向上と就労支援の促進
～SDGs（持続可能な開発目標）を意識した事業活動の構築と実施～
～組合組織の体制強化に向けた組合加入促進対策の立案と実施～
5. 災害時の迅速な対応と体制の強化
6. 経営力強化の支援と福利厚生制度説明会などの各種講習会の開催と積極的な参加
7. 電気工事士試験準備講習会の実施による資格取得支援
8. 他設備産業との連携強化による業界の地位向上と分離受注拡大
9. 地域行事への積極的な参加と地域情報の収集
10. 北陸電力(株)および北陸電力送配電(株)との情報交換と相互協力による連携強化
11. 各委員会・各種行事の参加率向上による組合活動の活性化
12. 女性など電気工事士の多様化を目指した電気工事業界の就労支援

電気使用安全月間行事

◇金沢本部

「百万石通り街路灯清掃」

コロナ禍が続いていますが、百万石まつりが開催されることもあり、18名の参加と例年と比べ少ないながらも、まつりの一週間前に実施しました。安全作業を意識しながら、汚れた街路灯を一基ずつ丁寧に磨き、道端のごみ拾いもしながら約1時間の作業となりました。また、村山新市長にも清掃活動に参加していただき、身が引き締まりました。



〈今後の行事予定〉

エレキスクール IN 金沢市

日時 8月6日(土) 9:30~12:00 (予定)

場所 組合会館

◇能登本部

〈今後の行事予定〉

●サービス相談所の開設 (定置)

日時: 令和4年8月1日(月)~8月31日(水)

9:00~16:00

場所: 当組合 能登本部

●小学校児童高学年を対象にしたエレキスクールLED親子工作教室の開催 (青年部)

日時: 令和4年8月6日(土)

9:00~11:30

場所: 穴水町役場 3F 大ホール

●キャラバン隊による巡回PR

(企画広報部会・青年部)

日時: 令和4年8月6日(土)

9:30~11:00

場所: 穴水町役場管内

内容: 電気使用安全月間のPR

●工事現場等パトロールによる指導 (内線安全部会)

日時: 令和4年8月1日(月)~

8月31日(水) 日時未定

場所: 当組合能登本部組合員の内線工事作業
現場等

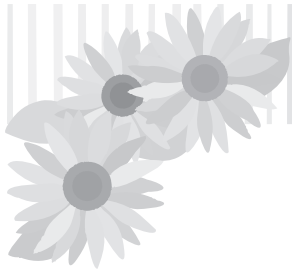


◇加南本部

〈今後の行事予定〉

- | | |
|---------|---|
| 7 月中 | 電気使用安全月間 P R 大型看板
設置（加南本部会館外壁） |
| 7 月中 | 管内 3 市 1 町に電気用安全月間
の趣旨説明と上記ポスターの配
布 |
| 7 月下旬 | 組合員に昨年度電気使用安全月
間ポスターコンクール最優秀賞
受賞作品ポスター配布 |
| 8 月上旬 | 重要文化財の電気設備点検 |
| 8 月 1 日 | 電気使用安全月間 P R 活動出発
式（電気安全サービス） |
| 8 月 6 日 | 「エレキスクール in かが」
（加賀市内小学生児童対象）
電気安全使用の P R |
| 8 月中 | 車両による巡回 P R、チラシ・
リーフレット・ツール等の配布 |
| 8 月中 | 「電気使用安全児童ポスターコン
クール」管内小学生児童から月
間 P R ポスター募集 |
| 8 月中 | 内線作業現場の安全パトロール
の実施、安全点検・電気災害防
止 P R |





組合女性部設立へ ～女性部入部のお願い～

6月3日に行われました総代会において、組合女性部の設立へ向けて組合定款の一部改正を行いました。

組合女性部を設立し、女性の社会的地位向上と女性後継者及び女性技術者の育成を図り、組合事業の活性化及び強化を目指します。

現在、事前活動として数名の発起人が集まり、打合せ、準備を進めております。設立式典など具体的な活動を発表できる時期になりましたら、各本部を通じて発表いたします。

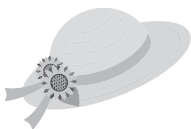
また、各本部から事前に入部の案内を送付いたしますので、組合女性部への入部についてご検討をお願い致します。

組合女性部加入対象者

- ・ 女性組合員
- ・ 組合員事業所の女性経営者、
女性役職者、女性従業員
- ※電気工事士、事務職員など職種、
年齢は限定しません。
- ・ 女性部の趣旨に賛同していただける方

《活動内容(案)》

- ・ 女性部員相互の親睦を深める活動
- ・ 経営や積算などの実務及び現場作業に役立つ各種セミナーの実施
- ・ 組合青年部との共同事業の実施
- ・ 他県組合女性部との交流活動
(福井県や京都府などで既に女性部が設立しています)
- ・ 石川県中小企業団体中央会女性部との連携



●●●●●各本部だより●●●●●

金 沢 本 部

1月4日 仕事始め
 1月12日 内工研幹事会（電力）
 ESCO 委員会
 1月13日 外線・引込線防保護具耐圧試験（1/18迄）
 1月18日 連合会安全管理指導員研修
 1月21日 配電自動化（更新）教育
 1月25日 青年部役員会
 1月26日 内線防保護具耐圧試験（午前）
 1月27日 電気安全協力会合同パトロール
 内線防保護具耐圧試験（午前）
 1月28日 北青協役員会
 （ANAクラウンプラザ金沢）
 2月5日 県青年部創立40周年決起大会13:00
 2月18日 配電委員会
 2月24日 電力委託者保安教育
 3月8日 県青年部役員会
 3月11日 本部役員会
 3月24日 県総務委員会
 県青年部役員会
 外線班長資格更新教育
 3月29日 県電設委員会
 4月1日 労働保険年度更新手続き 4/28迄
 4月2日 青年部総会



4月7日 電気安全協力会委員会（電力）
 4月13日 電気安全協力会理事会（電力）
 4月19日 外線班長研修

4月21日 監事会
 青年部役員会
 4月22日 本部役員会
 4月25日 配電事業主会議
 4月27日 常務会
 5月7日 第二種工事士（筆記）講習会①



5月8日 第二種工事士（筆記）講習会②
 5月11日 県役員会（日航ホテル）
 5月13日 県青年部総会 県青年部役員会
 （ホテル金沢）



5月14日 第二種工事士（筆記）講習会③
 5月15日 第二種工事士（筆記）講習会④
 5月18日 外線・引込線新入社員教育フルハーネス特別教育
 5月19日 外線・引込線新入社員教育フルハーネス特別教育

5月20日 全体会議（金沢東急ホテル）



本部役員会（金沢東急ホテル）
外線・引込線新入社員教育フルハーネス特別教育

5月21日 第二種工事士（筆記）講習会⑤

5月22日 第二種工事士（筆記）講習会⑥

5月24日 内線工事研究会幹事会（電力）
青年部役員会

5月28日 百万石通り街路灯清掃



5月30日 内線新人教育講師打合せ

6月1日 北陸電工連青年部連絡協議会総会（福井）

6月2日 電気安全協力会委員会

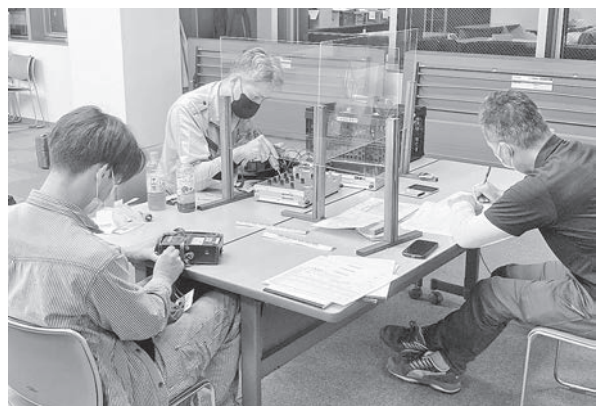
6月3日 優良従業員表彰式（日航ホテル）



総代会（日航ホテル）



6月6日 計測器照合試験（上期）



6月7日 計測器照合試験（上期）

6月8日 計測器照合試験（上期）

6月9日 計測器照合試験（上期）

6月13日 県広報委員会
市立工業高校意見交換会
（市立工業高校）



6月14日 内線新入社員教育①



6月16日 内線新入社員教育②

6月20日 内工研委員会



6月21日 青年部役員会

6月22日 内線新入社員教育③

6月24日 内線新入社員教育④

6月25日 青年部部員交流会

電気安全安全協力会安全教育研修会
(いしかわ総合スポーツセンター)



能登本部

- 1月4日 仕事始め
1月7日 北陸電力挨拶巡回
1月11日～2月4日 計測器等照合試験
1月14日 青年部 羽咋工業高校へ電気工事士試験用材料を贈呈



- 1月20日 全体会（新年会）中止
1月21日 県新年会 中止
2月1日～2日 圧縮工具定期点検
2月2日 足場組立等の業務に係る特別教育



- 2月4日・18日 ケーブルレントゲン試験
2月9日～24日 絶縁防保護具耐電圧試験
2月18日 配電委員会（於：県本部）
3月1日 計器取次業務計器類棚卸
3月10日 支部長会議
3月24日 総務委員会（於：県本部）
3月25日 無停電機材取扱者資格1級認定教育・
配電自動化工事者認定教育
3月25日 配電委員会（於：県本部）
3月29日 電設委員会（於：県本部）

- 4月2日 青年部総会（於：キャッスル真名井）



- 4月8日 能登本部全体会議
（於：和倉温泉 加賀屋）



- 4月12日 安全協力会推進委員会
4月13日～20日 間接活線工具耐電圧試験
4月25日 配電工事事業主会議（於：ホテル日航）
4月27日 常務会（於：県本部）
5月7日、14日、21日、28日
第二種電気工事士（筆記）受験準備講習会



5月11日 県役員会（於：ホテル日航）

5月13日～26日

高所作業車（バケットライナー、第3
ブーム）耐電圧試験

5月18日～20日

外線引込線施工者新入社員教育
（於：県本部）

5月23日 令和4年度上期外線班長教育

5月30日 内線工事新入社員教育指導者会議
（於：県本部）

6月3日 総代会、優良従業員表彰式
（於：ホテル日航金沢）

6月3日 青年部役員会

6月7日 連合会常務会・総会（於：富山市）

6月10日 中央会長表彰式
（於：ホテル日航金沢）

稲垣健英氏 受賞

6月13日 広報委員会（於：県本部）

6月15日 七尾内線工事研究会委員会
（於：北電七尾）

6月15日～23日

仮設開閉器・リードケーブル耐電圧試験

6月24日 内線工事施行者新入社員教育
（於：県本部）



加南本部

- | | |
|---|---|
| 1月4日 組合業務仕事始め | 2月24日 電設・企画経営合同役員会 6名
SDGsの取り組みについて |
| 1月6日 加南本部新年安全祈願祭 | 2月25日 加賀労働基準協会 第2回理事会 |
| 1月12日 安全協力会新年安全祈願祭
小松支部：本折日吉神社
加賀支部：加賀江沼神社 | 3月7日 電設・企画経営合同委員会 14名
SDGsの取り組みについて |
| 1月13日 トルクドライバー校正試験 加賀支部
43本/21社（内不良0本） | 3月14日～18日 活線防保護具耐圧試験 |
| 1月14日 安全サービス調査業務内部監査 | 3月17日・23日 配電無停電1級工事資格者更新
講習 11名 |
| 1月14日～2月14日 内工研クイズ
119名/20社 | 3月22日～24日 間接活線工具耐圧試験 |
| 1月21日 青年部県40周年事業説明会 | 3月22日 オンライン会議システム（Zoom）
運用試験 |
| 1月24日 小松労働基準協会 定例理事会 | 3月25日 電気記念日記念式典
優良電気工事業者表彰
（有）なかだ電設工業
代表取締役社長 中田隆治
傘寿功労者表彰
中谷電気工事（株）
代表取締役会長 中谷 功 |
| 1月24日 加賀支部役員会 割烹「河口」 4名 | 4月5日 第1回電設・第1回企画経営合同委員
会 16名
SDGsの取り組みについて |
| 1月25日 第1回小松支部世話人会 5名
令和3年度総会打合せ | 4月8日 第1回執行部会 5名
運営諸般について |
| 1月27日 小松工業高校意見交換会
コロナ禍により中止 | 4月8日 低圧検満施工者会議 |
| 1月31日 令和3年度加賀支部総会
コロナ禍により書面審議
令和3年度事業報告・会計報告
次期総代推薦者選出 | 4月12日 トルクドライバー校正試験 小松支部
64本（内不良0本） |
| 2月4日 圧縮工具メーカー一点検 | 4月15日 第1回総務委員会 6名
運営諸般について |
| 2月8日 業務効率化セミナー
コロナ禍により中止 | 4月15日 加賀市防火協会役員会 |
| 2月9日 外線施工者班長研修会
コロナ禍により中止 | 4月18日～20日
仮設開閉器・リードケーブル耐圧試験 |
| 2月10日 配電工事保安教育（防護管・設計・営
巣巡視） 外線工事施工者 | 4月20日 第1回配電災害対策委員会 11名
運営諸般について |
| 2月10日 小松商工会議所
小規模企業振興委員連絡会 | 4月21日 小松労働基準協会
理事懇談会・労務福祉委員会
小松商工会議所 |
| 2月10日 令和3年度小松支部総会
コロナ禍により書面審議
令和3年度事業報告・会計報告 | |
| 2月15日～16日
高圧ケーブルレントゲン検査 | |
| 2月17日 安全協力会 交差パトロール | |
| 2月17日 加南本部無線 LAN 新設工事 | |

4月21日～22日

労働保険年度更新事務受付 45社

4月21日 配電新工法説明会

4月22日 令和3年度青年部総会 12名



4月25日 県配電事業主会議 ホテル日航金沢

4月26日 第1回役員会 15名

運営諸般について

5月9日～27日 全14回

第二種電気工事士筆記試験講習

受講者8名

5月9日～13日 高所作業車耐圧試験

5月9日～13日 圧縮工具圧力試験

5月10日 石川県電気安全協力会小松地区本部
事務局会議

5月11日 小松能美木造建築工事安全対策連絡協
議会 役員会・監査会

5月13日 小松労働基準協会 健康診断団体会議

5月17日 令和4年度加南本部全体会議 のとや

・令和3年度事業報告、決算報告

・令和4年度事業計画、予算承認



5月18日～20日 外線引込線施工者新入社員教育

5月20日 加賀市防火協会 定例総会

5月26日 小松労働基準協会 三役説明会

6月1日 小松市へ「SDGs宣言」



6月3日 第60回優良従業員表彰式

ホテル日航金沢

6月3日 第81期通常総代会 ホテル日航金沢

6月3日 小松労働基準協会 定例理事会

6月8日 小松労働基準協会 安全衛生委員会

- 6月11日 第74回北電工組親睦ゴルフコンペ
片山津ゴルフ倶楽部西コース 23名
- 6月12日 クリーンビーチいしかわ in こまつ
安宅海岸清掃 小松支部17名



- 6月15日 石川県電気安全協力会小松地区本部
【会合中止】

安全表彰（6/15賞状交付）

【個人】山口尚彦（山口電設㈱）

川向 尊（㈱川向電気商会）

【団体】

目標5年（39社）：

秋山電工、㈱青山電気商会、上田電気商会、江川電気工事、エイシン電気、おもて電気工業所、表電気商会、㈱加藤デンキ商会、㈱加南電設、章栄電設㈱、高山電気商会、高林電工、㈱滝口電気商会、辰巳電気、田中電機、津波倉電気設備工事、道券電気、任田電設、㈱中橋電気、㈱中筋電気工業所、中川電気商会、㈱中田電気商会、㈱中村電機商会、㈱橋本電気商会、針谷電機、㈱番場電気工事、㈱ヒカリ、フジデンキ、㈱平和電業社、北光電気川北㈱、丸若電気商会、㈱宮下電気商会、㈱向電気商会、㈱山下電気工事、山城電気工事、山田電気工事、山本電設、㈱矢敷電工、ワタル電設㈱

目標4年（3社）：

松本電機㈱、㈱平専電工、大川電気商会

目標2年（1社）：山口電設㈱

目標1年（1社）：

㈱北陸エレテック

- 6月16日 加賀労働基準協会 理事会

- 6月17日 小松能美木造建築工事安全対策連絡協議会 通常総会

- 6月22日 建災防加賀分会 通常総会

加賀分会長表彰：㈱加南電設

- 6月28日 第2回配電災害対策・第1回安全合同委員会

令和4年度事業計画について





石川県電気工事工業組合加南本部 はSDGs宣言します。



1. 組合活動・業務を通じて、関係者・地域と良好な関係を構築します。



2. お客さまへの電気製品・エネルギーシステムの提案は省エネ性を最重視した推奨を行います。



3. 電気工事の施工は、関係法令を遵守し施工用資機材の健全性を確認して安全に行います。



4. 周辺地域の美化活動に積極的に取り組みます。



5. 電気工事技術の維持向上・拡大と未来への継承に取り組みます。



6. 性差別のない電気工事士の多様化を目指した電気工事業界への就労支援に取り組みます。

令和4年6月1日

石川県電気工事工業組合加南本部
本部長 今出 真稔

●●●●● 青年部だより ●●●●●

県青年部総会



去る令和4年5月13日にホテル金沢にて、総会が開催されました。

- ・令和3年度事業報告（案）及び支出報告（案）承認の件
- ・令和4年度事業計画（案）及び支出予算（案）承認の件

の2議案が審議され、すべて原案通り承認可決されました。

「確かな未来」が会社を変える。



で退職金。

「中退共」は中小企業が加入しやすい
国の退職金制度です。

毎年10月は加入促進強化月間です。

- ① 国の制度だから安全・安心！
さらに掛金の一部を国が助成します。
- ② 社外積立でラクラク管理！
管理や運用の手間がかかりません。
- ③ 掛金は全額非課税でオトク！
節税に加え、手数料もかかりません。

- パートタイマーさんも
ご加入いただけます。
 - 他の退職金・企業年金制度等
とのポートビリティも可能です。
- 詳しくはホームページをご覧ください

中退共 検索

<http://chutaikyo.taisyokukin.go.jp/>

独立行政法人勤労者退職金共済機構 中小企業退職金共済事業本部 TEL (03) 6907-1234 FAX (03) 5955-8211

新規採用職員の紹介

《県本部》

田 中 祐喜男



この6月に北陸電力送配電㈱を退職し、7月1日より石川県本部で安全部長として勤めさせていただくことになりました、田中祐喜男と申します。

平成25年7月から一年間、金沢本部に勤務し、お世話になりましたが、再び皆様方のお仲間に入ることになり、大変ご縁を感じ有難く思っています。

これからは、組合員の皆様方によって創りあげられた良き組織文化をベースに、多くの方々の思いや意見をしっかりと受けとめ、今以上に一体感のある組織醸成の向上と安全意識の継続に率先して取り組んでまいりたいと思いますので、今後ともご指導ご鞭撻を賜りますようお願いいたします。

(採用年月日：令和4年7月1日)

《金沢本部》

藤 本 敬 雄



初めまして、藤本敬雄と申します。

2月より金沢本部資材担当業務に従事させていただいております。

今後は、努力を惜しまず組合員の皆様に信頼されるよう、頑張りますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

(採用年月日：令和4年2月21日)

《金沢本部》

林 哲 也



初めまして、林 哲也と申します。令和4年6月1日から金沢本部の資材担当業務に新規採用されました。

前職は、製造業で金属部品の加工を行ってききました。電気に携わる仕事は、まったくの初めてですので、分からないことが多くご迷惑をおかけしておりますが、1日でも早く組合に貢献できる様に努力していきますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

趣味は、お酒を飲む事です。組合の皆様と是非、飲みたいですね！

(採用年月日：令和4年6月1日)

STOP! 熱中症 クールワークキャンペーン

令和4年5月～9月

— 熱中症予防対策の徹底を図ろう —

職場における熱中症により、毎年約**20人**が亡くなり、約**600人**が4日以上仕事を休んでいます。夏季を中心に「STOP! 熱中症 クールワークキャンペーン」を展開し、職場での熱中症予防に取り組みましょう!



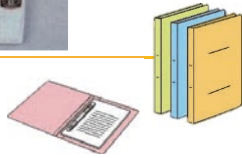
労働災害防止キャラクター **チューイ** カン吉

事業場では、期間ごとの実施事項に重点的に取り組んでください。

●実施期間：令和4年5月1日から9月30日まで（準備期間4月、重点取組期間7月）



確実に実施できているかを確認し、☐にチェックを入れましょう!

準備期間（4月1日～4月30日）		
☐	WBGT値の把握の準備	JIS規格「JIS B 7922」に適合した WBGT指数計 を準備しましょう。 
☐	作業計画の策定など	WBGT値に応じて、作業の中止、休憩時間の確保などができるよう 余裕を持った作業計画 をたてましょう。 
☐	設備対策・休憩場所の確保の検討	簡易な屋根の設置、通風または冷房設備やミストシャワーなどの設置により、 WBGT値を下げる方法 を検討しましょう。また、作業場所の近くに 冷房 を備えた休憩場所や 日陰 などの涼しい休憩場所を確保しましょう。 
☐	服装などの検討	通気性の良い作業着 を準備しておきましょう。 身体を冷却する機能をもつ服 の着用も検討しましょう。 
☐	教育研修の実施	熱中症の防止対策について、 教育 を行いましょ。迷わず救急車を呼びましょう! 
☐	労働衛生管理体制の確立	衛生管理者 などを中心に、事業場としての 管理体制 を整え、必要なら 熱中症予防管理者の選任 も行いましょう。
☐	発症時・緊急時の措置の確認と周知	体調不良時の休憩場所や状態の把握、悪化時に搬送する病院や緊急時の対応について確認を行い、周知しましょう。 

【主唱】厚生労働省、中央労働災害防止協会、建設業労働災害防止協会、陸上貨物運送事業労働災害防止協会、港湾貨物運送事業労働災害防止協会、林業・木材製造業労働災害防止協会、一般社団法人日本労働安全衛生コンサルタント会、一般社団法人全国警備業協会 【協賛】公益社団法人日本保安用品協会、一般社団法人日本電気計測器工業会 【後援】関係省庁（予定）



厚生労働省・都道府県労働局・労働基準監督署

(R4.3)

キャンペーン期間（5月1日～9月30日）

STEP
1

□ WBGT値の把握

JIS 規格に適合したWBGT指数計でWBGT値を測りましょう。



WBGT指数計の例

STEP
2

準備期間中に検討した事項を確実に実施するとともに、測定したWBGT値に応じて次の対策を取りましょう。

☐ WBGT値を下げるための設備、休憩場所の設置	準備期間に検討した設備、休憩場所を設置しましょう。休憩場所には氷、冷たいおしぼり、シャワー等や飲料水、塩飴などを設置しましょう。準備期間に検討した通気性の良い服装なども着用しましょう。	
☐ 通気性の良い服装等		
☐ 作業時間の短縮	WBGT値が高いときは、 単独作業を控え 、WBGT値に応じて 作業の中止 、 こまめに休憩をとる などの工夫をしましょう。	
☐ 暑熱順化	暑さに慣れるまでの間は 十分に休憩を取り、1週間程度かけて徐々に身体を慣らし ましょう。特に、 入職直後 や 夏季休暇明け の方は注意が必要です！	
☐ 水分・塩分の摂取	のどが渇いていなくても 定期的に水分・塩分 を取りましょう。	
☐ プレクーリング	休憩時間にも体温を下げる工夫をしましょう。	
☐ 健康診断結果に基づく措置	①糖尿病、②高血圧症、③心疾患、④腎不全、⑤精神・神経関係の疾患、⑥広範囲の皮膚疾患、⑦感冒、⑧下痢 などがあると熱中症にかかりやすくなります。医師の意見をきいて人員配置を行いましょう。	
☐ 日常の健康管理など	前日はお酒の飲みすぎず、よく休みましょう。また、当日は朝食をしっかりと取るようにしましょう。熱中症の具体的症状について理解し、熱中症に早く気付くことができるようにしましょう。	
☐ 作業中の作業者の健康状態の確認	管理者はもちろん、作業員同士お互いの健康状態をよく確認しましょう。特に、入職直後や夏季休暇明けの作業員に気を配りましょう。	

STEP
3

熱中症予防管理者等は、WBGT値を確認し、巡視などにより、次の事項を確認しましょう。

☐ WBGT値の 低減対策 は実施されているか
☐ WBGT値に応じた 作業計画 となっているか
☐ 各作業者の 体調 や 暑熱順化の状況 に問題はないか
☐ 各作業者は 水分 や 塩分 をきちんと取っているか
☐ 作業の 中止 や 中断 をさせなくてよい



□ 異常時の措置

～少しでも異変を感じたら～

- ・ いったん作業を離れ、休憩する
- ・ 病院へ運ぶ、または救急車を呼ぶ
- ・ 病院へ運ぶまでは一人きりにしない

重点取組期間（7月1日～7月31日）

- ☐ 実施した対策の効果を再確認し、必要に応じ追加対策を行いましょう。
- ☐ 特に梅雨明け直後は、WBGT値に応じて、作業の中断、短縮、休憩時間の確保を徹底しましょう。
- ☐ 水分、塩分を積極的に取りましょう。
- ☐ 各自が、睡眠不足、体調不良、前日の飲みすぎに注意し、当日の朝食はきちんと取りましょう。
- ☐ 期間中は熱中症のリスクが高まっていることを含め、重点的に教育を行いましょう。
- ☐ 休憩中の状態の変化にも注意し、少しでも異常を認めたときは、ためらうことなく病院に搬送しましょう。



ゆったり休暇で、夏を満喫。
心身ともに充実を。

Refresh!
もっと自分らしい
働き方
休み方

新しい働き方・休み方を実践するために 年次有給休暇を上手に活用しましょう

- 「年次有給休暇の計画的付与制度」を導入しましょう。
- 年次有給休暇付与計画表による個人別付与方式を活用すれば休暇の分散化にもつながります。



働き方・休み方改善
ポータルサイト



年次取得促進
特設サイト

厚生労働省 | 都道府県労働局 | 労働基準監督署

●働き方・休み方改善ポータルサイト <https://work-holiday.mhlw.go.jp/>

年次有給休暇取得促進特設サイト



働き方の新しいスタイル



テレワークや
ローテーション勤務



時差通勤で
ゆったりと



オフィスは
ひろびろと



会議は
オンライン



対面での打合せは
換気とマスク

新しい働き方・休み方を実践するために 年次有給休暇を上手に活用しましょう。



年次有給休暇の計画的付与制度を導入しましょう。

「年次有給休暇の計画的付与制度」とは、年次有給休暇の付与日数のうち5日を除いた残りの日数について、労使協定を結べば、計画的に休暇取得日を割り振ることができる制度です。この制度の導入によって、休暇の取得の確実性が高まり、労働者にとっては予定していた活動が行いやすく、事業主にとっては計画的な業務運営に役立ちます。

1) 日数 付与日数から5日を除いた残りの日数を計画的付与の対象にできます。

例1 年次有給休暇の付与日数が10日の労働者

5日	5日
事業主が計画的に付与できる	労働者が自由に取得できる

例2 年次有給休暇の付与日数が20日の労働者

15日	5日
事業主が計画的に付与できる	労働者が自由に取得できる

○前年度取得されずに次年度に繰り越された日数がある場合には、繰り越し分を含めた付与日数から5日を引いた日数を計画的付与の対象とすることができます。

2) 活用方法 企業、事業場の実態に合わせたさまざまな付与の方法があります。

方式	年次有給休暇の付与の方法	適した事業場、活用事例
一斉付与方式	全従業員に対して同一の日に付与	製造部門など、操業を止めて全従業員を休ませることのできる事業場などで活用
交替制付与方式	班・グループ別に交替で付与	流通・サービス業など、定休日を増やすことが難しい企業、事業場などで活用
個人別付与方式	個人別に付与	年次有給休暇付与計画表により各人の年次有給休暇を指定

年次有給休暇の計画的付与に関する労使協定の例（個人別付与方式の場合）

〇〇株式会社と〇〇労働組合とは、標記に関して次のとおり協定する。

- 当社の従業員が有する〇〇〇〇年度の年次有給休暇(以下「年休」という。)のうち5日を超える部分については、6日を限度として計画的に付与するものとする。
なお、その有する年休の日数から5日を差し引いた日数が6日に満たないものについては、その不足する日数の限度で特別有給休暇を与える。
- 年休の計画的付与の期間及びその日数は、次のとおりとする。
前期=4月～9月の間で3日間 後期=10月～翌年3月の間で3日間
- 各個人別の年休付与計画表は、各期の期間が始まる2週間前までに会社が作成し、従業員に周知する。
- 各従業員は、年休付与計画の希望表を、所定の様式により、各期の計画付与が始まる1か月前までに、所属課長に提出しなければならない。
- 各課長は、前項の希望表に基づき、各従業員の休暇日を調整し、決定する。
- 業務遂行上やむを得ない事由のため指定日に出勤を必要とするときは、会社は組合と協議の上、前項に基づき定められた指定日を変更するものとする。

〇〇〇〇年〇月〇日

〇〇株式会社 代表取締役 〇〇〇〇

〇〇労働組合 執行委員長 〇〇〇〇

時間単位の年次有給休暇を活用しましょう。

年次有給休暇の付与は原則1日単位ですが、労使協定を結べば、年5日の範囲内で、時間単位の取得が可能となります。労働者の様々な事情に応じた柔軟な働き方・休み方に役立ちます。

〈労使協定で定める事項〉

① 時間単位年休の対象労働者の範囲

対象となる労働者の範囲を定めてください。一部の者を対象外とする場合には、「事業の正常な運営を妨げる場合」に限られます。

② 時間単位年休の日数

1年5日以内の範囲で定めてください。

③ 時間単位年休1日分の時間数

1日分の年次有給休暇が何時間分の時間単位年休に相当するかを定めてください。1時間に満たない端数がある場合は時間単位に切り上げてください。(例) 所定労働時間が1日7時間30分の場合は8時間となります。

④ 1時間以外の時間を単位として与える場合の時間数

2時間単位など1日の所定労働時間数を上回らない整数の時間単位を定めてください。

●就業規則や労使協定のモデルは、「年次有給休暇取得促進特設サイト」をご覧ください。

労働基準法が改正され、2019年4月から年5日間の年次有給休暇を確実に取得させることが必要となりました。

注) 時間単位の年次有給休暇の取得分については、確実な取得が必要な5日間から差し引くことはできません。

「ダニ」にご注意ください



山や草むらでの野外活動の際は、ダニに注意しましょう



春から秋にかけてキャンプ、ハイキング、農作業など、山や草むらで活動する機会が多くなる季節です。

野山に生息するダニに咬まれることで

重症熱性血小板減少症候群(SFTS)、ダニ媒介脳炎、日本紅斑熱、つつが虫病、ライム病などに感染することがあります。

ダニに咬まれないためのポイント！

●肌の露出を少なくする

⇒帽子、手袋を着用し、首にタオルを巻く等

●長袖・長ズボン・登山用スパッツ等を着用する

⇒シャツの裾はズボンの中に、ズボンの裾は靴下や長靴の中

●足を完全に覆う靴を履く

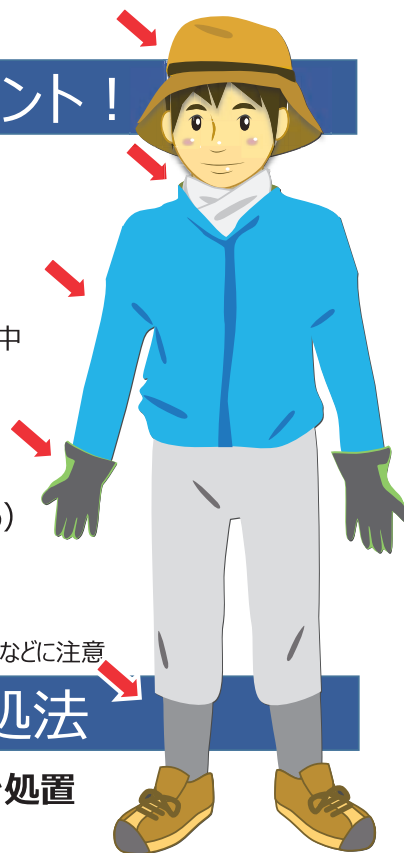
⇒ サンドル等は避ける

●明るい色の服を着る（マダニを目視で確認しやすくするため）

* 上着や作業着は家の中に持ち込まないようにしよう

* 屋外活動後は入浴し、マダニに咬まれていないか確認をしよう

特に、わきの下、足の付け根、手首、膝の裏、胸の下、頭部（髪の毛の中）などに注意



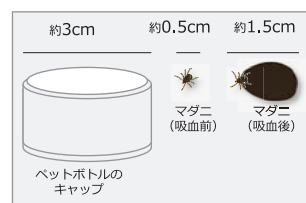
ダニに咬まれたときの対処法

●無理に引き抜こうとせず、医療機関（皮膚科など）で処置（マダニの除去、洗浄など）をしてもらいましょう。

●マダニに咬まれた後、数週間程度は体調の変化に注意をし、発熱等の症状が認められた場合は医療機関で診察を受けて下さい。

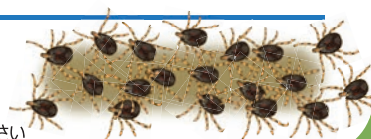
【受診時に医師に伝えること】

①野外活動の日付け、②場所、③発症前の行動



ダニ媒介感染症（厚生労働省）

各地域のダニ媒介感染症の状況については各自治体HPも参考にしてください



平成29年 4月

定期講習へ行こう！

「(指定講習機関第1号) 電気工事技術講習センター」で受講しましょう！

第一種電気工事士のみなさまへ

5年に一度の定期講習をお忘れなく！

第一種電気工事士の方は、免状交付日から5年以内、その後は前回受講日から5年以内に講習を受講することが電気工事士法により定められています。

全日電工連 電気工事技能競技全国大会

スキルチャンピオン

第1回チャンピオン
泉谷 祐真

第2回女性の部
チャンピオン
前田 宏枝

第2回チャンピオン
小柳 剛之

電気工事技術講習センターが選ばれる理由

実績No.1はここにある！

25年以上の
講習実績

マイページから
技術情報閲覧
サービス

全国47都道
府県、複数の
地域で開催

最新情報
事故事例が
豊富なテキスト

豊富な経験を
もつ講師陣に
よる対面講義

登録されていない方は、まず登録を！登録いただきますと受講期限3カ月前までに講習をお知らせいたします。

(指定講習機関第1号) **一般財団法人 電気工事技術講習センター**

〒105-0004 東京都港区新橋4-7-2 (6東洋海事ビル4階)

TEL: 03-3435-0897 FAX: 03-3435-0828

実施協力団体：全日本電気工事業工業組合連合会 日本電気協会

<http://www.eei.or.jp>



登録 受講 は今すぐWEBで！

開催予定日	予定会場
令和4年8月4日(木)	七尾サンライフプラザ
令和4年9月8日(木)	石川県地場産業振興センター

石川県電気工事工業組合「任意労災制度」

「2022年7月現在の内容です。」

～たいへん多数のご加入でご好評をいただいております～

任意労災制度(業務中のケガと病気補償)
【業務災害総合保険】の特長

1. 団体契約なので個別にご加入いただくよりも割安です。
※50事業者以上の場合:事業者数割引が15%適用されます。
2. 従業員の方々からの個別健康告知は不要です。
3. 貴社の事業内容および売上高から保険料を算出します。
4. 保険料は全額損金処理が可能です。

※法人が契約者として、従業員全員(役員を含みます。)のために負担する保険料は全額が損金扱いとなります。

(法人税基本通達9-3-5,9-3-6の2を準用 2022年 5月現在)

5. 業務中の地震によるケガも補償します。
(地震・噴火・津波危険補償特約セットの場合)
6. 高額化する労災訴訟への備えとして、

最高5億円(※)までの損害賠償責任に対応!

※損害賠償保険金の支払いにあたっては、労災保険の請求結果が必要です。

(注)事業内容によっては引受限度額が1災害最高3億円になります。

※弁護士費用等の争訟費用も補償します。

※この広告は保険商品の概要をご説明したものです。詳細につきましては、パンフレットをご覧ください。取扱代理店または引受保険会社にお問い合わせください。

◎このような場合に保険金をお支払いいたします。



職場に向かう途中のケガ



仕事中のケガ

お問い合わせ先

石川県電気工事工業組合
「任意労災制度」推進担当
AIG損害保険株式会社 金沢支店
金沢市南町4-60 金沢大同生命ビル

<https://www.aig.co.jp/sonpo>

TEL 076-222-0005 FAX 076-222-1287

(受付時間)午前9時～午後5時(土・日・祝日・年末年始を除く)

(営業種目)自動車保険・火災保険

賠償責任保険・その他各種損害保険

引受保険会社

AIG AIG損保

AIG損害保険株式会社

募集文書承認番号: D-005997(2023-07)

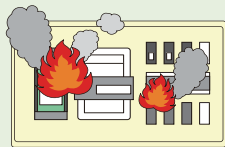
全日電工連認定損害保険制度の概要

全日電工連組合員の皆さまに、3つの損害保険制度をご用意しております。全日電工連ならではのスケールメリットを生かした割安な加入費(保険料)で皆さまの経営を支えます。

物への補償

組立保険制度

組合員の皆さまの資材、工事物件を守ります。



夜間火災が発生し、現場事務所および収容の什器・備品を焼損した。



工事現場で電線が盗難にあった。

人への補償

業務災害補償制度

従業員や役員、個人事業主などの労災リスクを補償します。



作業中に感電して亡くなられた。



従業員が作業中にケガをし、後遺障害第1級が生じた。

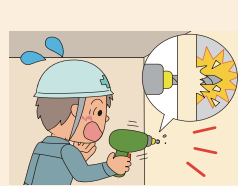
ご自身の損害

第三者損害賠償制度

第三者(他人)の身体に障害を、または財物に損壊を与えてしまったことにより、法律上の賠償責任を負った場合に補償します。



5年前の太陽光発電システム設置工事の際、ボルトの締めが緩かったためすき間ができ、雨漏りが発生した。



空調設備工事中、誤って壁をキズつけた。



工事中、誤って工具を落とし通行人にケガをさせた。

第三者の損害

全日電工連の生命保険

グループ共済制度

病気 災害 24時間保障!
業務外 業務上

加入年齢範囲の拡大!

経営者おすすめコースの設置!

制度の推進を
承っております
事務幹事会社
住友生命より、
訪問の上、詳しい
説明をさせていただきます。
しております。

2022年度版(概算掛金) 全日電工連の生命保険 (災害保障特約付 団体定期保険【契約概要・注意喚起情報】)

本パンフレットをご一読いただき、この機会にぜひ加入・保障の見直しをご検討ください。

全日電工連 グループ共済制度のご案内



**手頃な掛金で
充実の保障!!**
従業員の皆様が安心して働けます。

**経営者が万が一の時に
事業承継にも役立ちます** 頼りになります!

「経営者おすすめコース」は70歳まで
最高3000万円まで新規加入・増口ができます。
ご加入されると71歳から80歳までも
最高2000万円まで自動更新できます。

全日本電気工業労働組合連合会
〒105-0014 東京都港区芝2-9-11 全日電工連会館1F TEL 03-5232-5861 FAX 03-5232-6855 E-MAIL: zennichi@znd.or.jp

手続きや制度内容のお問い合わせは スミセイフリーダイヤル(団体保険契約室) ☎ 0120-307282
【受付時間】 月曜日～金曜日 午前9時～午後5時(祝日・12月31日～1月3日を除く)
【本パンフレットは次回更新日まで大切に保管してください。】 品名コード 102-251 CG2021-0371

※ご加入にあたっては
こちらのパンフレットを必ずご覧ください。



全日電工連グループ共済制度事務幹事会社
住友生命保険相互会社
金沢支社

〒920-8632

石川県金沢市上堤町1-18

住友生命金沢上堤町ビル7F

TEL 076-231-1283

あなたの未来を強くする



住友生命

CG2021-0468

● 組合事務局日誌 ●

- | | |
|--|--|
| 1月4日 仕事始め | 5月11日 役員会 |
| 6日 三役会議・年始挨拶廻り（全日電工連） | 12日 電設委員会（北陸電気工事組合連合会） |
| 11日 年始挨拶廻り
（北陸電気工事組合連合会） | 16日 役員会（石川県中小企業団体中央会） |
| 12日 E S C O委員会 | 17日 加南本部全体会議
監事会（北陸電気工事組合連合会） |
| 26日 全国女性部協議会第1回発足会
（全日電工連） | 18日 新入社員教育（外・引）～20日迄 |
| 28日 役員会（北青協） | 20日 金沢本部全体会議 |
| 2月3日 D X技術拡充推進チーム会議
（全日電工連） | 23日 役員会
（石川県中小企業団体事務局協議会） |
| 4日 組合女性部活動啓発推進セミナー
（石川県中小企業団体中央会） | 24日 定時総会（石川県電気業協会） |
| 8日 配電委員会
（北陸電気工事組合連合会） | 25日 支部大会・表彰式
（日本電気協会北陸支部） |
| 16・17日 合同会議（全日電工連） | 26日 三役会議・理事会（全日電工連）
取締役会（全日電工連サービス） |
| 18日 配電委員会 | 30日 表彰式・通常総会（労保連石川支部） |
| 21日 代議員会
（ほくりく地域産業企業年金基金） | 31日 通常総会（金沢法人会）
通常総会（北陸原子力懇談会） |
| 22日 第2回送配電工事協働情報連絡会役員
会議（北陸電気工事組合連合会） | 6月1日 代表者会議（石川県建設産業連合会） |
| 24日 電設委員会（北陸電気工事組合連合会） | 3日 第60回優良従業員表彰式
第81期通常総代会 |
| 3月2日 取締役会（全日総合サービス） | 7日 常務会・通常総会
（北陸電気工事組合連合会） |
| 10日 D X技術拡充推進チーム会議
（全日電工連） | 8日 定時総会（北陸経済連合会） |
| 17日 技術・認証委員会（全日電工連） | 10日 表彰式・通常総会
（石川県中小企業団体中央会） |
| 24日 総務委員会
企画委員会（石川県中小企業団体中央会） | 13日 広報委員会 |
| 25日 配電委員会 | 14日 正副会長会議（石川県建設産業連合会） |
| 29日 電設委員会 | 20日 理事会・通常総会
（石川県建設産業連合会） |
| 4月8日 能登本部全体会議 | 27日 令和5年度保安功労表彰選考幹事会
（日本電気協会北陸支部） |
| 21日 監事会
配電委員会（北陸電気工事組合連合会） | 28日 通常総会・講演会
（石川県中小企業団体事務局協議会） |
| 22日 総合政策会議（全日電工連） | 三役会議（全日電工連） |
| 25日 配電工事業者事業主会議 | 29日 理事会・通常総会（全日電工連） |
| 27日 常務会 | |
| 28日 総務委員会（北陸電気工事組合連合会） | |

こうほう 第 155 号

発 行 2022年 7 月 20 日

発行所 石川県電気工事工業組合
金沢市新保本4-65-22
TEL (076) 269-7880(代)
FAX (076) 269-7881



届けるのは、 北陸を愛するエネルギー。

暮らしによりそい、電気をお届けしつづける使命とともに
未知の領域に、勇気を持って挑んでいく。

一人ひとりの熱い想いが、電気の流れる「道」をつくる。

未来へ、めぐらせる。

 北陸電力送配電